

授業科目	* 専門演習Ⅱ (須藤)				単位	2		
履修	必修	関連資格			ナンバリング	TO31805J		
開講年次	3年	開講時期	通年	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP1-3 DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP5-1 DP5-2			
担当教員	須藤 秀夫							
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞記事・社説、文献などの輪読、グループワーク・討論などを通して、外国貿易・投資、労働市場・雇用、金融(企業のおカネ回りの事など)・国家財政、環境問題、エネルギー・資源の調達、企業経営(顧客の心をいかに掴むか等)など、日本国内と海外の経済・ビジネス・社会の諸事情(どのように世の中は動いているか)について学びます。</li> <li>・関心のある企業や業界の研究を取り上げます。</li> <li>・ビジネスや社会に関するクイズ(時事問題やビジネス算数等)を取り上げ、基礎的知識の向上を図ります。</li> </ul>							
学生が達成すべき行動目標	<p>学生各自が問題意識や研究テーマをできるだけ明確にしなが、その内容についての発表・討論をすることができる。さらに4年次の「卒業研究」を念頭に置きながら研究計画を立案できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世の中(日本および世界)がどのような仕組みで動いているかを理解できる。</li> <li>・経済・社会に関する新聞記事・社説等を読み、自分なりの意見を述べることができる。</li> <li>・質問し本質を捉えようとすることができる。また、筋道立てて考え自分の考えを述べることができる。</li> </ul>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	25	25	25	25	100	
知識・理解 (DP1-1)			12				12	
知識・理解 (DP1-2)				12			12	
知識・理解 (DP1-3)					12		12	
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			13				13	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)					13		13	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)				13			13	
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)					13		13	
技能・表現 (DP5-2)						12	12	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
論文作成の基本マナーを体得しており、4年次の「卒業研究」にスムーズに進むことができる。				論理的に筋道立てて考え、自分の言葉で分かりやすく口頭および論文で述べる能力を習得できている。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	1～30回のすべてのテーマ・講義内容については、第1回目の授業で担当者によって説明されます。学科共通研究行事として、キャリアをテーマにした授業があります。			
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	2年次までの演習・研究科目についての理解が、きちんとなされていること。			
テキスト	担当者により、説明がされます。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	1.知へのステップ 2. よくわかる卒論の書き方 3. 図書館の朝日新聞のデータベース / JapanKnowledge / ブリタニカオンラインジャパン (学内のみで閲覧可) 4.担当者により説明されます。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	日頃から新聞雑誌等を読み、テレビ・ラジオ、ネットでのニュースに関心をもっていることが大事です。知識の枠組みを広げることが基本です。 。			
達成度評価に関するコメント	4年次には、無理なく卒業研究に取り掛かることができるように、卒業論文作成のマナーの基本を体得しているようにしましょう。			